

今後取り組むべき技術分野に係る、  
第12回会合におけるご意見  
(まとめ)

平成26年3月25日  
事務局

# 第12回会合において構成員から出されたご意見(まとめ)

## 「情報の取得」について

- センサーシステムを重視されていることは非常にいいことだと思うが、センサーシステム以外からの情報もいろいろあるため、センサーシステム以外からの情報の取得も含めたほうがよい。
- ハードウェアセンサーにフォーカスしてあるが、10年、15年たってくると大分変わると思う。そこら辺も各委員からご指摘いただければと思う。
- ヒューマンインターフェースの概念をもう少し記述して欲しい。

## 「ネットワーク」について

- CO<sub>2</sub>の排出量削減を考えた場合に、排出係数が高止まりしているため、目標値については、省エネのことも考えながら設定しないと、出来たはいいが使えないということにもなりかねない。
- グローバルな視点でネットワークを考えたときに、どうするのかという観点も加えるべき。例えば宇宙や海底といった新しいフロンティアを開拓するとき、これをネットワーク化していく技術も今後、重要になってくるのではないか。  
ついては、以下の内容を何れかの項目(コア・バックボーンの発展等)に追加いただきたい。  
「宇宙・洋上等におけるグローバルブロードバンドを実現する衛星高速通信技術の実現」

# 第12回会合において構成員から出されたご意見(まとめ)

## 「処理・分析・制御」について

- ▶ 活用方法として、様々な情報を更に幅広く連結するということも重要になってくる。  
については、資料の記述について、以下のように修正いただきたい。  
(変更前)・多種多様かつ大量なデータを解析する「ビッグデータ」により、個々のサービス利用者のニーズに合致した、多様なサービスが実現可能に  
↓  
(変更後)・多種多様かつ大量なデータを統合・解析する「ビッグデータ」により、…
- ▶ 現段階では網羅しきれないような技術要素が出てくる可能性もあり、そういう部分を幅広く捉えられるよう「処理・分析・制御」と明確に言い切らないほうがよいのではないか。

## 「提示」について

- ▶ ヒューマンインターフェースについての記述があるが、現実問題として、ヒューマンインターフェースだけでサービスが成り立つかどうかは疑問。そういう意味で、「提示」という表現がよいのかどうかについても少し検討が必要ではないか。

# 第12回会合において構成員から出されたご意見(まとめ)

## 技術分野の整理の図について (資料12-3の3ページ)

- 重点かどうかの議論は別として、整理段階では、一番上のところに「記録」というレイヤーを追加いただきたい。
- 「情報セキュリティ」のレイヤーは、全部のレイヤーに絡んでくるので、横に引かずに縦にしたほうがよい。

## その他 (今後の検討にあたってのご意見)

- 例えばセキュリティについて、暗号とか認証の技術をとがらせていくこと以外に、国として例えば利用に関するガイドラインを提示することも並行してやっていくことが大事。そのため、次回サービスのことを書く際には、サービスと技術の縦軸、横軸に加え、それに関わるガイドラインなり規制があれば、それをこのマイルストーンで解決していこうということを示していただきたい。
- 情報技術はどんどん情報の量を増やしていくが、増えてきた情報を人間、社会がより安全というよりも安心して使えるための技術、制度設計が非常に重要になっていると思う。安全のための技術ということでセキュリティがあるのは非常に結構だが、サービスと結びつける接点のところに安心を支える技術、制度設計という視点を盛り込んでいただきたい。